

キャラクター名 《紅戦姫（くれないせんき）》ウィリアード=ドラグニル

プレイヤー名

種族	ウィークリング	種族特徴	弱点(水氷+3)、石化の視線、毒の血液		
生まれ	戦士	性別	女	年齢	17
冒険者Lv	13	経歴	一族を滅ぼされた		
経験点	8980		人族が蛮族に勝利すると思っている 武者修行のために人族社会へ来た		

技	8	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス	技能	Lv.	技能	Lv.
		器用度	8	8		24 + 2	4				
体	10	敏捷度	4	11	-2	21	3	マジテック	1		
		筋力	10	32		52 + 2	9	スカウト	12		
心	5	生命力	10	17		37	6	レンジャー	9		
		知力	4	8	3	20	3	エンハンサー	10		
		精神力	5	8		18	3	アルケミスト	2		

戦闘特技				言語			会話	読文
タフネス	2122p	武器習熟A/ソード	IB31 p	交易共通語		○	○	
バトルマスター	3143p	武器習熟S/ソード	IB31 p	汎用蛮族語		○	○	
トレジャーハント	2120p	防具習熟A/金属鎧	IB31 p	魔動機文明語		○	○	
ファストアクション	2123p	防具習熟S/金属鎧	IB32 p					
影走り	2120p	防具の達人	IB32 p					
トレジャーマスター	3143p		p					
治癒適正	2122p		p					
不屈	2123p		p					
ポーションマスター	2123p		p					
全力攻撃	IB36 p		p					
なぎ払い	IB38 p		p					

練技/呪歌/騎芸/賦術		
マッスルベアー		
キャッツアイ		
ビートルスキン		
ガゼルフット		
ジャイアントアーム		
デーモンフィンガー		
リカバリィ		
オウルビジョン		
ファイアブレス		
フェンリルバイト		
パラライズミスト		
パークメイル		

技能	基本	基本	基本	基本追加
	レベル	命中力	回避力	ダメージ
ファイター	13	17	16	22
グラブラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾	必要	ランク	筋力	回避力	防護点
鎧 イスカリアの魔導甲冑α (マナタイトの追加装甲+1) (防弾加工の鎧)			26+3	-2	13
盾 ホプライトシールド			15	0	4
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					4
回避技能	ファイター			合計値	14 22

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
クレイモア	1H両	26		2d+ 17	10	25	36										
クレイモア	2H	26		2d+ 17	10	25	46										
破邪大剣バオウ	2H	25		2d+ 17	10	26	40										
変体刀【血刀・銷】	2H	25		2d+ 17	10	25	45										
				2d+													
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP	魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
3 m	28 m	84 m	2d+ 14	22	93	魔動機術	1	4			
魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP							
2d+ 0/X	2d+ 15	2d+ 19	2d+ 16	23							

装備品	説明	装備品	説明
頭 決死の鉢巻			
耳 石人の耳飾り	器用、または敏捷が-6される代わりに、防護+1		
顔 黒の眼帯			
首 小熊の爪	マッスルベアーの効果が+1		
背中 ウエボンホルダー改			
右手 筋力増強の腕輪		左手 器用増強の腕輪	
腰 多機能ブラックベルト		アルケミーキット	
足 韋駄天ブーツ			
その他 守護者の証			

その他メモ	自動失敗
一般技能：貴族（ノーブル）5	チェック
料理人（コック）3	□□□□⑤
家政婦（ハウスキーパー）2	□□□□⑩
【経歴】	□□□□⑮
レーゼルドーン地方で名を響かせたバジリスクの名門一族、ドラグニル家の息女。通称「ウィル」	□□□□⑳
しかし、ある時人族との大きな戦いで彼女以外の一族が戦死し、ドラグニル家は崩壊。	□□□□㉑
母親の提案で彼女は戦場から遠ざけられ生き延びてしまったが、その際にその戦いで蛮族側の勝利がないと確信した。	□□□□㉒
戦いが収まり生き延びた後は、自身の力不足を認めて、再びドラグニル家を再興するために単身武者修行の旅に出た。	□□□□㉓
人族に対してはこれからの自分とは無関係であると割り切っており、人族自体の優秀さは認めている。	□□□□㉔
そのため、彼らの戦いの技術を手に入れようと、進んで人族の領域へと足を踏み入れる。	□□□□㉕

